

児童の報告における詳細さのコントロール

“だいたい”と“正確に”という質問を明示した時の報告

○佐々木真吾・仲 真紀子

(北海道大学大学院文学研究科)

出来事を報告する場合は、できる限り詳細で、正確な回答が望まれる。ただし、詳細な回答は“具体的で情報価値は高いが誤りも含まれやすく”，一方で荒い回答は“大雑把で誤りとはなりにくい情報価値は低い”というトレードオフがある。大人は、報告の前に回答の確信度を判断し、確信度が高い場合には詳細な回答を、低い場合には荒い回答を報告し、このトレードオフに対処している (Goldsmith, Koriat, & Weinberg-Eliezer, 2002)。では、子どもも同じように対処しているのか。そもそも子どもは、詳細な回答と荒い回答を区別し報告できるのか。異なる詳細さで報告する言語報告のスキルがなければ、この問題には対処できないだろう。佐々木・仲 (2012) では、小学1, 4年生を対象に“できるだけ正確に”と“だいたいよいので”という、異なる詳細さの報告を求める質問を設定し、調査を行った。結果、数で答える課題では異なる詳細さで報告できたが、言葉で答える課題ではできるとはいえなかった。上記の研究は参加者間で質問を行ったが、日常場面を考えると2つの質問を続けて尋ねられることもある。この流れは、異なる詳細さで報告して欲しいという質問者の意図を暗に伝達すると考えられ、異なる詳細さの報告がより顕著に認められると推測される。本研究では、2つの質問を参加者内で明示することで、言葉で回答する課題でも詳細さを変えて報告できるか、学年差はあるのかを調査する。

方法 **参加者** 小学校1年生23名と4年生22名。参加者は「正確に→だいたい」と尋ねる群 (e-r 群) と「だいたい→正確に」と尋ねる群 (r-e 群) に分けられた。**課題** 数で答える課題 (個数5問, 長さ8問) と言葉で答える課題 (色8問, 場所8問) の全4課題。**手続き** 課題の図版を1分間見てもらった後、e-r 群では「できるだけ正確に教えて下さい」、r-e 群では「だいたいよいので教えて下さい」と質問し課題への回答を求めた。その直後、e-r 群では「だいたい」、r-e 群では「正確に」と質問し、同じ課題への回答を求めた。

結果と考察 回答は詳細さの観点から3つのカテゴリに分類した。各カテゴリに分類された回答の合計数を用い (Table 1), 課題別、カテゴリ別に群 (e-r 群, r-e 群) × 学年 (1年, 4年) × 質問 (正確, だいたい) の分散分析を実施した。以下、特筆すべき箇所のみ記述する。①個数課題: 荒い回答で群 × 質問の交互作用があり ($F(1, 41) = 4.68, p < .05$), 単純主効果検定の結果, “だいたい”で群の効果 ($e-r < r-e$), r-e 群で質問の効果があつた (だいたい > 正確)。以上の結果は、佐々木・仲 (2012) と類似する。②長さ課題: 単一数字の回答で、群 × 質問の交互作用があり ($F(1, 41) = 6.27, p < .05$), r-e 群で質問の効果があつた (だいたい < 正確)。③色課題: 詳細な回答で、群 × 質問の交互作用があり ($F(1, 41) = 6.23, p < .05$), “正確”で群の効果 ($e-r < r-e$), r-e 群で質問の効果があつた (だいたい < 正確)。また、学年 × 質問の交互作用があり ($F(1, 41) = 5.17, p < .05$), “正確”で学年の効果 (1年生 < 4年生), 4年生で質問の効果が見られた (だいたい < 正確)。④場所課題: 詳細な情報の回答で、群 × 質問の交互作用があり ($F(1, 39) = 5.81, p < .05$), “正確”で群の効果 ($e-r < r-e$), r-e 群で質問の効果があつた (だいたい < 正確)。また、学年 × 質問の交互作用があり ($F(1, 39) = 4.98, p < .05$), “正確”の質問で学年の効果 (1年生 < 4年生), 4年生で質問の効果があつた (だいたい < 正確)。

以上より、言葉で回答する課題では“だいたい”“正確”の順で質問すると、後の質問で詳細な回答が多く得られること、つまり、言葉で答える課題でも、質問に応じて詳細さの異なる答えが得られることが示された。1年生よりも4年生の方が詳細な回答を多く報告でき、メタ認知や語用論習得の可能性が考えられる。

Table 1 各課題における回答数の平均値

	1年				4年			
	e-r 群		r-e 群		e-r 群		r-e 群	
	正確に	だいたい	だいたい	正確に	正確に	だいたい	だいたい	正確に
個数課題								
単一数字	3.82	4.00	3.00	4.33	3.91	3.55	2.91	4.36
荒い回答	0.45	0.64	1.67	0.33	0.73	1.18	2.09	0.55
未回答	0.73	0.36	0.33	0.33	0.36	0.27	0.00	0.09
長さ課題								
単一数字	5.36	6.00	4.67	5.17	4.91	5.09	4.73	6.00
荒い回答	2.00	1.64	2.08	2.17	3.09	2.91	3.27	2.00
未回答	0.64	0.36	1.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
色課題								
詳細	0.00	0.09	0.08	0.25	0.18	0.09	0.55	2.09
単色	7.82	7.91	7.83	7.67	7.82	7.91	7.36	5.82
荒い回答	0.18	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00	0.09	0.09
場所課題								
詳細	0.80	0.60	0.33	0.83	0.60	0.20	0.73	3.55
中程度	6.90	7.10	6.83	6.67	6.80	6.70	7.09	4.27
荒い回答	0.30	0.30	0.83	0.50	0.60	1.10	0.18	0.18